

仕様同書

対象形式：LSMT4

お客様記入		弊社記入		弊社 検印	弊社 検印
形 式		JOB No.			
貴 社 名		機 番	—		
お 名 前		営業担当			
注 番					

本仕様同書において、ご指定のない場合は標準設定値での出荷になります。

■入力定格設定

●結線方式

いずれか一つを選択し、□に印をご記入下さい。(標準設定：三相 3 線)

☐ 単相 2 線	☐ 単相 3 線	☐ 三相 3 線	☐ 三相 4 線
---------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	---------------------------------

●VT 設定

VT を使用する場合のみ、一次側の電圧を 50 ～ 400 000 V の範囲で、10 V 単位での数値をご記入下さい。
(標準設定：VT 非使用)

一次側	V
-----	---

VT の二次側の電圧を下表の範囲で整数をご記入下さい。また、この値は入力定格電圧となります。(標準設定値:110 V)

結線方式	設定範囲	
単相 2 線	V1－N 間電圧	50 ～ 277 V
三相 3 線	線間電圧	50 ～ 480 V
単相 3 線	V1－N 間電圧	50 ～ 277 V
三相 4 線	相電圧	

二次側 (入力定格)	V
------------	---

●CT 設定

CT を使用する場合のみ、一次側の電流を 1 ～ 20 000 A の範囲で整数をご記入下さい。(標準設定：CT 非使用)
二次側は製品形式により、1 A または 5 A となり、定格電流となります。

一次側	A
-----	---

●入力定格電力

いずれか一つを選択し、□に印をご記入下さい。

☐ 標準	☐ 補正なし
-----------------------------	-------------------------------

・標準を選択した場合

VT 二次側(入力定格)×CT 二次側(1 または 5)×a を CT 二次側の 100 倍の値の整数倍にまるめた値を入力定格電力とします。
(a＝単相 2 線：1、単相 3 線：2、三相 3 線：2、三相 4 線：3)

計算例

結線方式	定 格	入力定格電力
単相 2 線	110 V ／ 5 A	500 W
	220 V ／ 5 A	1000 W
単相 3 線	110 V ／ 5 A	1000 W
三相 3 線	110 V ／ 5 A	1000 W
	220 V ／ 5 A	2000 W
三相 4 線	220 V ／ 5 A	3500 W

・補正なしを選択した場合

入力定格電力は以下の式で計算されます。
 単相 2 線：電力＝定格電圧×定格電流
 単相 3 線：電力＝定格電圧×定格電流× 2
 三相 3 線：電力＝定格電圧×定格電流×√3
 三相 4 線：電力＝定格電圧×定格電流× 3

■出力設定

●出力信号割当て

標準から変更がある場合のみ、下表の信号割当て記号をご記入下さい。

項目		信号割当て記号（本体に印字）
I1	1 線電流	I1
I2	2 線電流	I2
I3	3 線電流	I3
IN	中性線電流	IN
U12	1－2 線間電圧	V12
U23	2－3 線間電圧	V23
U31	3－1 線間電圧	V31
U1N	1 相電圧	V1N
U2N	2 相電圧	V2N
U3N	3 相電圧	V3N
P	有効電力	W
P1	1 相有効電力	W1
P2	2 相有効電力	W2
P3	3 相有効電力	W3
Q	無効電力	var
Q1	1 相無効電力	var1
Q2	2 相無効電力	var2
Q3	3 相無効電力	var3
S	皮相電力	VA
S1	1 相皮相電力	VA1
S2	2 相皮相電力	VA2
S3	3 相皮相電力	VA3
PF	力率	PF
PF1	1 相力率	PF1
PF2	2 相力率	PF2
PF3	3 相力率	PF3
F	周波数	Hz

使用しないチャンネルは“－”をご記入下さい。

・単相 2 線

チャンネル	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
標準	I1	－	－	V1N	－	－	W	var	PF	Hz
お客様指定										

・単相 3 線

チャンネル	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
標準	I1	IN	I3	V1N	V3N	V31	W	var	PF	Hz
お客様指定										

・三相 3 線、三相 4 線

チャンネル	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
標準	I1	I2	I3	V12	V23	V31	W	var	PF	Hz
お客様指定										

●アナログ出力リミット

いずれか一つを選択し、□に印をご記入下さい。

☐ なし（標準）	機器本来の限界（-5 ～ +105 %）まで出力します。
☐ あり	-1 ～ +101 % の範囲で出力します。

注）折れ線テーブルを使用する場合は、アナログ出力リミットの指定は無視し、折れ線テーブルで設定した通りに出力します。

●出力レンジ設定

・電圧

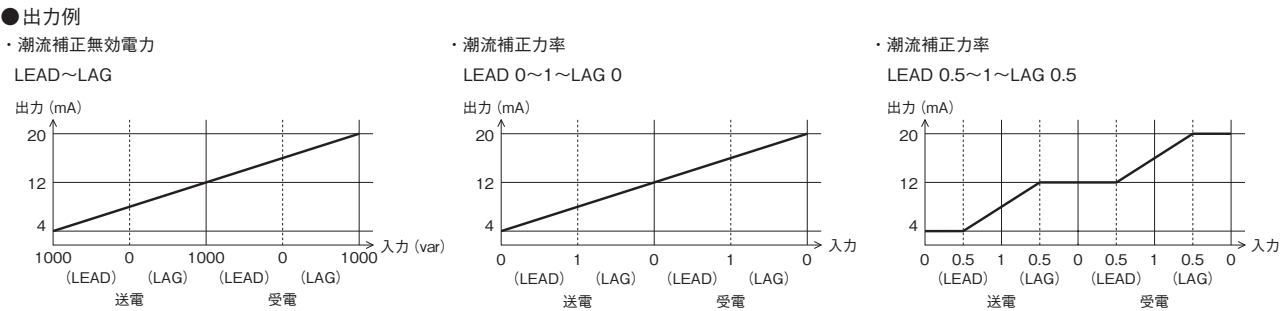
電圧の入力レンジ 100 % 側を、線間電圧は 50 ～ 480 V、相電圧は 50 ～ 277 V の範囲で整数をご記入下さい。
0 % 側は 0 V になります。（標準設定値：150 V）

V

・電流、電力、力率、周波数
入力レンジを下表にご記入下さい。電流、電力については、入力定格を 1(100 %)として、それに掛ける係数を記入します。
電力の入力定格は、「定格入力電力」の項で設定した値になります。

入力仕様		出力レンジ						潮流 (標準：なし)
		出力 0 %			出力 100 %			
		係数	範囲	標準	係数	範囲	標準	
電流	N / A		0.0000 ~ 0.2000	0.0000		0.3000 ~ 1.2000	1.0000	N / A
電力	N / A		-1.2000 ~ 0.2000	0.0000		0.3000 ~ 1.2000	1.0000	負の係数にて
皮相電力	N / A		0.0000 ~ 0.2000	0.0000		0.3000 ~ 1.2000	1.0000	N / A
無効電力	☐ 0 ~ LEAD		-0.5000 ~ 0.0000	0.0000		-0.5000 ~ -1.2000	-1.0000	N / A
	☐ 0 ~ LAG		0.0000 ~ 0.5000	0.0000		0.5000 ~ 1.2000	1.0000	N / A
	☐ LEAD ~ LAG (標準)		-0.4000 ~ -1.2000	-1.0000		0.4000 ~ 1.2000	1.0000	☐ あり ☐ なし
	☐ LAG ~ LEAD		0.4000 ~ 1.2000	1.0000		-0.4000 ~ -1.2000	-1.0000	☐ あり ☐ なし
力率	☐ LEAD 0.5 ~ 1 ~ LAG 0.5	標準：LEAD 0.5 ~ 1 ~ LAG 0.5						☐ あり ☐ なし
	☐ LAG 0.5 ~ 1 ~ LEAD 0.5							
	☐ LEAD 0 ~ 1 ~ LAG 0							
	☐ LAG 0 ~ 1 ~ LEAD 0							
周波数	☐ 45 ~ 65	標準：45 ~ 65 Hz						N / A
	☐ 45 ~ 55							
	☐ 55 ~ 65							

潮流補正無効電力と潮流補正力率の相関は下図のようになります。



・電力量パルス
電力量は、一次側の電力に応じて下表からいずれか一つを選択し、□に印をご記入下さい。
設定値は Wh と varh 共用となります。出力チャンネルは 11 = Wh、12 = varh の固定です。
一次側の電力は以下の式で計算されます。

単相 2 線：電力＝一次電圧×一次電流
単相 3 線：電力＝一次電圧（相電圧）×一次電流× 2
三相 3 線：電力＝一次電圧×一次電流×√3
三相 4 線：電力＝一次電圧（相電圧）×一次電流× 3

一次側電力 (kVA)	設定可能なパルス単位 (Wh および varh / pulse)			
10 未満	1 k	0.1 k	0.01 k	0.001 k
10 ~ 100 未満	10 k	1 k	0.1 k	0.01 k
100 ~ 1 000 未満	100 k	10 k	1 k	0.1 k
1 000 ~ 10 000 未満	1 M	100 k	10 k	1 k
10 000 ~ 100 000 未満	10 M	1 M	100 k	10 k
100 000 以上	100 M	10 M	1 M	100 k
お客様指定	☐	☐	☐	☐ 標準

●無効電力符号設定

無効電力および力率の潮流（送電）なし設定時の、潮流入力時特性を設定します。
潮流付近まで使用する場合下図をもとにご指定下さい。

(IEC の対応はファームウェアバージョン 1.3 以降)

☐標準 (IEC)

☐SPC

無効電力符号設定	IEC	SPC
無効電力		
力率		